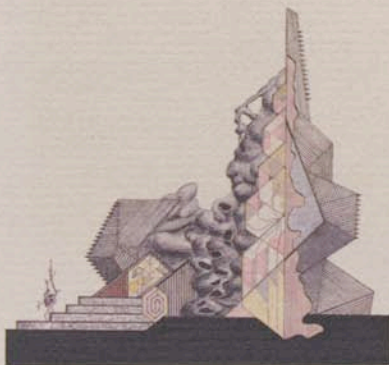


NO.167

海野健三

KENZO UNNO



この階段は自分で作った。手を動かして作るということは、地球の姿や、命の形を探っていることに等しい。建築は関係の美学であるが、ゆがんだ関係の中で生まれた建築が多い。頭だけの建築は見た目に痛く弱い。

いろいろと試みていながらも暖かく優しい形というものがある。手を動かして作れば自然とそうなる。手の時代が来て欲しい。